

2025年2月18日

お客さま各位

水戸証券株式会社
投資顧問部

リバランス実施の背景

1. TAA 実施に関して

- ・ 2月13日（木）の投資政策会議において、投資判断の一部を変更させていただきました。これまでの資産配分比率に占める新興国株式の割合を引き上げることといたします。
- ・ TAAは、相場環境見通しに基づき資産配分を変更するものです。
- ・ 以下、その背景につきご案内申し上げます。

2. TAA 実施の背景

<新興国株式> 「中立」→「やや強気」

- ・ 新興国株式相場は、米トランプ政権による関税政策等が懸念され、年明けから下落しましたが、2月上旬にかけては反発基調となっています。
- ・ 中国は、根強い不動産不況やデフレリスクへの懸念が残るものの、昨年12月開催の中央経済工作会議において内需拡大方針が示されたことから、3月開催予定の全国人民代表大会へ向けて、政策期待が高まると予想します。また、新興AI企業への期待やバリュエーション面での割安感等から、中国ハイテク関連株への買いが集まりやすいと考えます。
- ・ 韓国は、政治的不透明感が引き続き懸念される半面、米国の関税政策の影響が限定的との見方から、反発基調の継続を予想します。
- ・ 台湾は、堅調な半導体需要が下支え要因として期待されます。
- ・ インドは、足もとでインフレ圧力の鈍化が示されていることから、ルピー安に警戒しながらも、堅調な経済成長を背景に反発する可能性は十分にあると思われます。

このような最近の投資環境を踏まえ、新興国株式の投資判断を変更することといたしました。

以 上